

東欧の名門チェコ・フィルの 要として活躍するチェリストと 特にアンサンブルに定評ある 美しい音色を持ったピアニストの再会

フランティšek・ホスト (チェロ) František Host, Cello

プラハ音楽院にてヴィクトル・モウチカに、さらにプラハ音楽アカデミーにてヨゼフ・フッフロに師事。1975年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団し、1983年より首席チェロ奏者を務めている。ソリストとして、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、マドリッド国立管弦楽団、その他国内外で多くの室内管弦楽団と共演している。チェコ・フィルハーモニー弦楽三重奏団、チェコ・フィルハーモニー・ソリストのメンバーとして度々来日しており、ソリストとしては、2013年、2015年に次ぐ、3度目の来日公演となる。



佐藤 和子 (ピアノ) Kazuko Sato, Piano

名古屋音楽大学器楽学科ピアノ専修卒業。PTCピアノコンクール優秀賞、カワイ・クラシック・オーディション伴奏部門入賞。

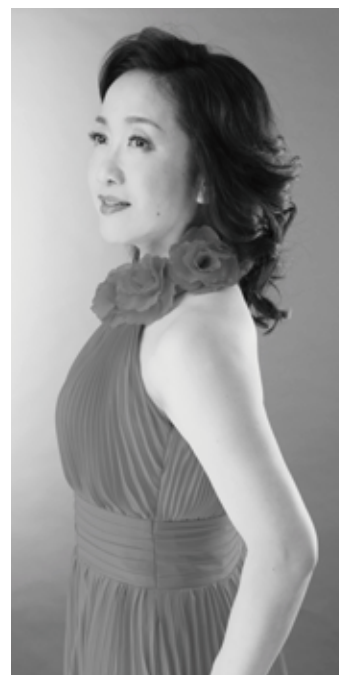
1998年から2009年まで、毎年定期的にウィーンに留学、ソロをクリスティアーネ・カライエーヴァ教授、室内楽を元ウィーン・フィル首席チェロ奏者のアダルベルト・スコッチの各氏に師事。2000年より、ウィーン国立音楽大学教授、故グニラ・ヴァレン・ミッテンドルファー氏のもとでコレペティトゥアを務める。2003年には同大学から招聘され、その演奏が多くの称賛を得た。

これまでに、元ウィーン・オペラ座歌手、アンネット・一恵・ストゥルナート氏や、指揮者・音楽評論家の宇野功芳氏らと共演し、CDをリリース。宇野氏に抜擢され、演奏したCDおとぎ歌劇「ドンブラコ」(キング・インターナショナル)では、2009年度文化庁芸術祭レコード部門で優秀賞を受賞した。

近年はアンサンブル・ピアニストとしての活動に重点を置いており、2009年、コンサートシリーズ「ピアニスト佐藤和子・鍵盤上の時間」を企画。第一弾として、アダルベルト・スコッチ氏とデュオ・コンサートを開催、大好評を博した。

以来、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団メンバーとのコンサートをはじめ、チェコ・フィルハーモニー・ソリスト、チェコ・フィルハーモニー弦楽トリオとも共演を重ねている。さらに、ヴァイオリニスト・川畠成道氏との名古屋市文化振興事業団主催のコンサートでは、絶賛され、2012年にはアンコール公演が実現した。持ち味の表現力の深さと音色の美しさには定評があり、共演者からの信頼も厚い。

また、ウィーンでのコレペティトゥアの経験を生かし、声楽コーチとして多くの声楽家のサポートに携わり、定期的にコンサートを企画するなど、後進の指導にも力を注いでいる。



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

宗次ホール

Munetsugu Hall

名古屋市中央区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)